福剣連
居合道だより
第81号
第81号　平成２５年４月１日発行
発行：　福岡県剣道連盟居合道部
URL：　http://riai.info/
発行人　井手友太
〒819-1132
糸島市有田36番地-1
TEL:092-322-0847

はじめに

去る３月２０日、第３９回北九州居合道大会が全国から約９６０名もの参加を得て盛会裏に開催された。

袴姿で掲刀し、広い会場を埋め尽くすように整列した開会式の様相はまさに圧巻であった。

特筆すべきは大学生以下の若い世代が全体の約二割も参加してくれたことであろう。

あらゆる組織、団体の年齢別人口比は、それらの将来的発展のためには当然ピラミッド型が望ましい。

若い世代がこれから先どのように成長して行ってくれるのか、本当に頼もしく嬉しい限りである。

今の低段者、特に若い世代の居合の上手さは、我々の若い頃と比べたら格段の差があるように思える。

見事なまでに緩急、強弱、残心を表現し、見ようによっては風格さえも漂わせている。それなりに実に良くまとまっているのである。

拝見していて、とてもかなわないなと思うことさえある。

しかしこれで本当に良いのだろうかと思うのである。

『道』とは５年、１０年で完成出来るものではない。長い年月をかけて、一歩一歩前進し、その進歩のなかで、ある時は喜び、またある時は壁にぶち当たって悩み苦しむ。

その過程こそが重要なのではなかろうか。

若い人たちには、庭の植木にはなって欲しくないのである。ましてや盆栽の木などには。

見事に剪定されて無駄な枝葉が無く、全体の形も計算されて美しい。日本の心をも表現している。まさに日本の美の極致ではある。

しかし、である。それでは木自体の成長はどうなるのだろうか。木だってもっともっと大きく成長したいはずである。

大地に力強く根を張り、天に向かって高く伸び、大きく枝葉を広げていく。風雪に耐えながら、時には枝葉を折られながらも逞しくまた若葉を芽吹いていく。だからこそ立派に花を咲かせ、実をつけて、次世代へと命を繋いでいくのである。

若い木を見栄えの良いように型にはめたり、剪定したりして良いものだろうか。まずは大きく太陽に向かって伸び伸びと成長させてやるべきではなかろうか。

若い世代には、庭木ではなく太陽に向かってそびえていく鎮守の森の大木になって欲しいと願っているのである。

少々愚痴っぽくなってきたので続きは次回ということで。

主な出来事

３月３日	福岡県居合道審査会	福岡武道館
３月２０日	第３９回北九州居合道大会 第１５回全国居合道七段選手権	北九州市総合体育館

福岡県居合道審査会

北九州居合道大会

北九州居合道大会

七段選手権決勝戦

４，５月の予定

４月１４日	第４３回福岡県剣道連盟武道祭	福岡武道館
５月２日～５日	第１０９回全日本剣道演武大会	京都市
３日	八段審査会　称号審査会	京都市
５月１９日	県居合道部理事会・総会	大野城北コミュニティーセンター

その他

４月１日より社団法人　福岡県剣道連盟が公益社団法人へと移行しました。それに伴い居合道部も名称を社団法人福岡県剣道連盟居合道部から福岡県剣道連盟居合道部と表示が変更されます。